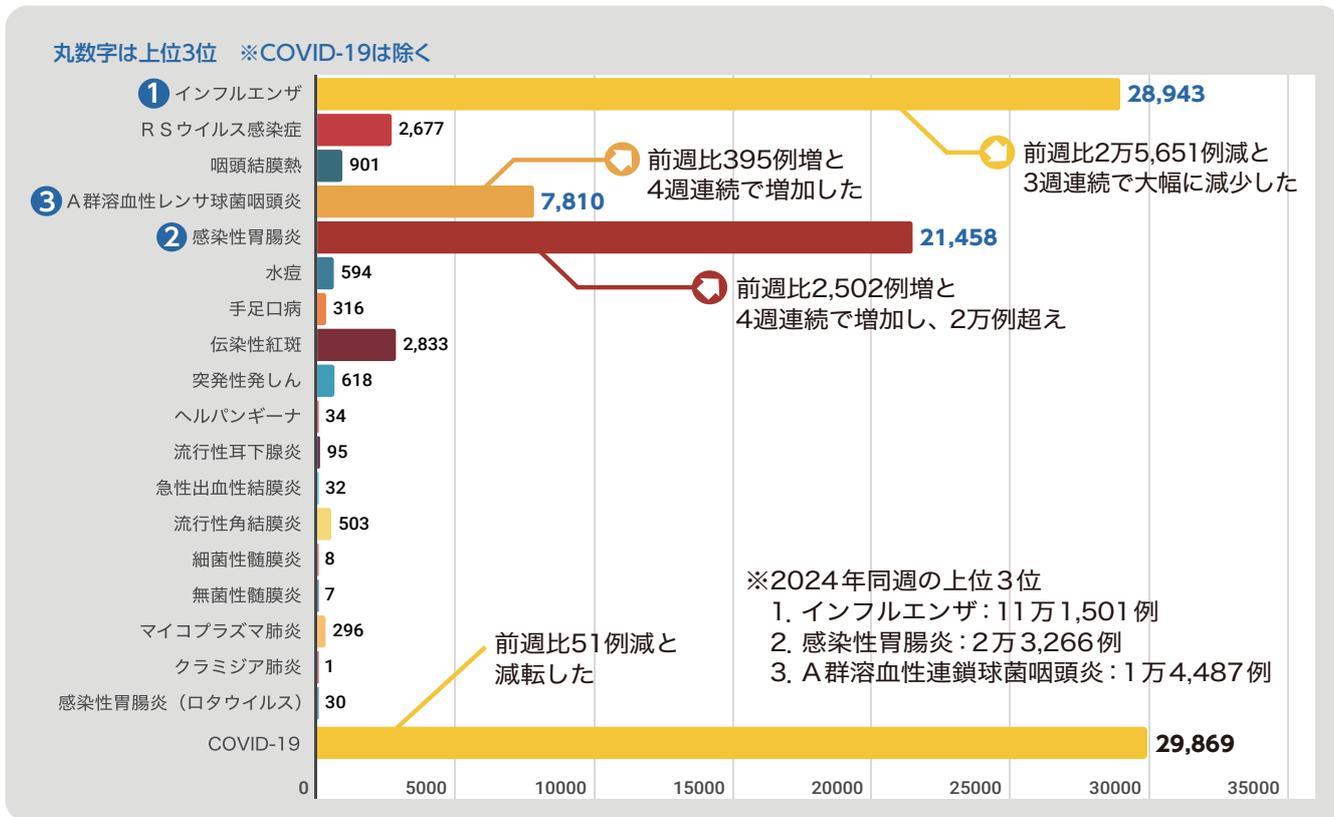




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

感染性胃腸炎が約1年ぶりに2万例突破



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

① インフルエンザ

報告数

- 神奈川県: 1,748例
- 埼玉県: 1,599例
- 東京都: 1,586例

定点当たりの報告数(5.87)

- | | | | |
|---------------|---------------|--------------|---------------|
| 1. 山形県: 16.02 | 4. 岩手県: 11.35 | 7. 群馬県: 8.95 | 10. 長野県: 8.35 |
| 2. 新潟県: 14.94 | 5. 宮城県: 9.44 | 8. 青森県: 8.64 | 11. 福井県: 7.90 |
| 3. 沖縄県: 13.32 | 6. 石川県: 9.27 | 9. 富山県: 8.60 | 12. 高知県: 7.75 |

② 感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 2,276例
- 神奈川県: 1,569例
- 大阪府: 1,400例

定点当たりの報告数(6.86)

- | | | | |
|---------------|---------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 18.53 | 4. 佐賀県: 10.43 | 7. 富山県: 9.10 | 10. 愛媛県: 8.75 |
| 2. 熊本県: 11.56 | 5. 福岡県: 9.76 | 8. 千葉県: 8.91 | 11. 東京都: 8.65 |
| 3. 石川県: 11.00 | 6. 宮崎県: 9.72 | 9. 広島県: 8.91 | 12. 香川県: 8.50 |

③ A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 東京都: 671例
- 千葉県: 526例
- 北海道: 519例

定点当たりの報告数(2.50)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 富山県: 5.07 | 4. 岩手県: 4.77 | 7. 佐賀県: 4.22 | 10. 愛媛県: 4.00 |
| 2. 新潟県: 4.87 | 5. 茨城県: 4.57 | 8. 千葉県: 4.11 | 11. 北海道: 3.82 |
| 3. 鳥取県: 4.84 | 6. 大分県: 4.47 | 9. 福岡県: 4.00 | 12. 長崎県: 3.66 |

今週の感染症動向

インフルエンザは3週連続で大幅に減少した。定点当たりの報告数が注意報レベル(10.00)にある地域は4県に縮小した。感染性胃腸炎は4週連続で増加し、約1年ぶりに2万例を突破した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎も395例増と4週連続で増加している。COVID-19は51例減少した。伝染性紅斑はやや減少したものの、定点当たりの報告数は、青森県(3.86)、福島県(2.78)、千葉県(2.64)、埼玉県(2.46)、栃木県(2.04)で警報レベルの2.00を超えている。インフルエンザが減少傾向にある一方で、感染性胃腸炎やA群溶血性連鎖球菌咽頭炎は増加が続いており、警戒が必要である。